

2015（平成27）年度事業報告

法人の名称 特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

自 2015（平成27）年4月1日 至 2016（平成28）年3月31日

1 事業活動・成果報告

一年を通じ子ども・若者支援の事業に取り組んだ。

生活保護受給世帯の子ども、若者の支援のために横須賀市生活福祉課より委託を受けた「社会的居場所づくり事業」は4年目を迎えた。中学三年生の生徒22名は全員高校進学した。また、今年度は中学二年生生徒を10名受け入れた。学習支援だけでなく、相談も実施した。貧困の世代間連鎖の解消に向けた取組みを今後も継続していく。

横須賀市市民生活課「よこすか元気ファンド」を団体の基盤作りに活用した。

神奈川県立青少年センター青少年サポート課のフリースペース等事業費補助金を活用し、相談業務を行った。

認定NPO法人取得に際し、公益財団法人損保ジャパン日本興亜財団よりNPO基盤強化資金助成「認定NPO法人取得資金助成」より申請業務に対して助成金を受けた。

8月28日に認定NPO法人に認定された。平成32年8月27日までの期間に3,000円以上寄附した寄附者は所得税、県民税と市民税の控除が受けられることになり、団体を支える大きな基盤となった。このことにより今までご寄附いただいた支援者の方々の寄附金額が増大し、より深い理解と支援をいただいた。また、当法人の公益性が増した。

2 各事業報告

(1) 学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

- ・内容 不登校の子ども及びひきこもりの若者の居場所作りを進めるフリースペース事業を行った。日常の活動に加え、次記の活動を行った。散歩、菓子作り、scratch(プログラミング講座)等
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース他
- ・従事者員数 5名（島田、石井、伊藤、高木、齋藤）
- ・対象者 不登校の児童・生徒とひきこもりの若者15名延べ220名
- ・支出額 123,974円

(2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として、座学と実践を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者員数 4名（島田、石井、伊藤、高木）
- ・対象者 ひきこもりの若者1名 延べ7名
- ・支出額 23,745円

イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 今年度は実施しなかった。
- ・日時 なし
- ・場所 なし
- ・従事者員数 0名
- ・対象者 0名
- ・支出額 0円

(3) 子ども・若者の学習の支援活動

ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動

- ・内容 不登校、発達障害、生活保護受給世帯および学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供した。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験、高卒認定試験対策に対応した。

- ・日時 通年
- ・場所 当法人学習スペース
- ・従事者員数 12名（島田、石井、伊藤、他非常勤職員6名、ボランティア3名）
- ・対象者 学習に不安を抱いている児童・生徒・若者42名 延べ919名
- ・支出額 5,769,653円

イ) 不登校・進路相談会への参加

- ・内容 神奈川県、横須賀市、鎌倉市の教育委員会が主催する学校・フリースクール等連携協議会及び不登校相談会に参加した。
- ・日時 5/1、5/26、6/2、6/6、7/18、9/18、9/26、12/16、2/6、2/19
- ・場所 鎌倉市役所、神奈川県民センター、横須賀市役所、横須賀市総合福祉会館、神奈川県立青少年センター、神奈川県藤沢合同庁舎
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民550名
- ・支出額 51,000円

(4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供

- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティア・プロボノワーカーを受け入れた。県立修悠館高等学校より単位認定プログラム受講生徒の受け入れを行った。近隣の小中学校より、キャリア教育の一環として職業体験や仕事調べの受け入れを行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店、商店街ほか
- ・従事者員数 4名（島田、石井、伊藤、高木）
- ・対象者 正会員及び一般市民69名 延べ1,201名
- ・支出額 50,000円

(5) 教育や不登校・ひきこもり等に関する相談及び情報提供

- ・内容 当法人の活動を生かした実践的な経験に基づく相談を行うとともに、相談員を配置し、専門的な視点からの相談も実施した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人相談スペース
- ・従事者員数 4名（島田、石井、吉本、高木）
- ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みをもつ人々1,005名
- ・支出額 270,698円

(6) 他の市民活動団体との交流活動

- ・内容 神奈川県及び横須賀市等のNPO及び任意団体との交流を行った。上町商店街の活性化を図るため、商店街事業の一端を担うとともに、上町イベント実行委員会に参画した。また、横須賀商店街連合会青年部においては横須賀市内の商店街関係者と交流を図り、横須賀市域の商店街の活性化の方策を練った。わかもの互立ネットワークにおいては、運営に関する助言と困難を抱える若者に対するサポートを検討した。今年度より神奈川県教育委員会が開催するかながわの子ども・若者支援あり方検討会議に委員として参画し、子ども・若者支援の政策提言を実施した。今年度より横須賀市立市民活動サポートセンター運営懇話会に参加し、運営に関する助言を行った。
- ・日時 3/27、4/5桜まつり・7/17、18灯ろうまつり・9/12フリフリフェスタ・10/26～28収穫祭・10/24ハロウィンフェスティバル・2/14NPO映像祭、その他通年
- ・場所 当法人内、横須賀市内及び神奈川県内
- ・従事者員数 4名（島田、石井、伊藤、高木）
- ・対象者 NPO法人及び任意団体と一般市民30,000名
- ・支出額 290,000円

(7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営

- ・内容 今年度は実施しなかった。
- ・日時 なし

- ・場所 なし
- ・従事者員数 0名
- ・対象者 0名
- ・支出額 0円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

- ・内容 ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場として、はるかぜ書店及び地域お助けサービス、山形県の物産販売を運営した。上町商店街および上町イベント実行委員会より、以下の事業の運営を受託。桜まつり（4月）、グリーンカーテン（6月）灯ろうまつり（7月）、収穫祭（10月）、ハロウィンフェスティバル（10月）など。
横須賀市、株式会社ワットマン及び（一社）横須賀建設業協会と協働し、「古本回収プロジェクト」を実施した。
横須賀市市民生活課企画提案型市民協働モデル事業として生活福祉課と協働し自立支援のための就労体験受け入れ事業所の開拓事業を実施。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafe、上町商盛會商店街、横須賀市内
- ・従事者員数 4名（島田、石井、伊藤、高木）
- ・対象者 正会員及び一般市民200名 延べ1500名
- ・支出額 2,393,538円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容 不登校・ひきこもり等に関する講演会に講師を派遣し、課題に対する理解を促進した。
- ・日時 7/10、10/20、10/30、11/9、11/28、12/11、1/4、1/28
- ・場所 藤沢市保健所、専修大学、横須賀共済病院、横須賀市総合福祉会館、南下浦市民センター、神奈川県立横浜修悠館高校、あすなろサポートステーション
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民160名
- ・支出額 90,233円